d2 （真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率

算式

$$\text{計測値(\%)} = \frac{\text{d2（真皮までの損傷）以上の院内新規褥瘡発生患者数}}{\text{年間入院患者延べ数}}$$

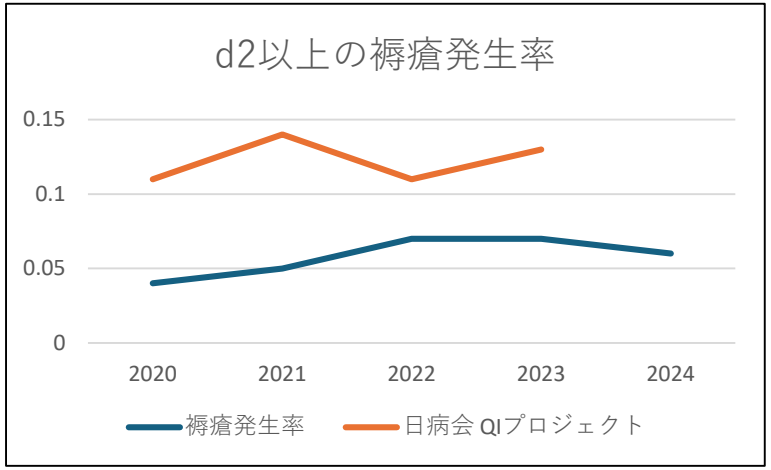
対象

全入院患者（全診療科・全病棟）

考察

褥瘡は、看護ケアの質評価の重要な指標の１つとなっている。当院では褥瘡患者の抽出等を褥瘡管理システムを使用し行っている。褥瘡クリニックチームは、病棟横断的に状況把握を行い必要なケア介入を行っており、発生率は全国参考値と比較しても平均以下であり、適切な管理がなされている。

計画

継続的なモニタリングにより、対策の評価を行う。発赤段階での早期発見・早期介入に取り組み、深達度の深い褥瘡発生を予防する。

	2020	2021	2022	2023	2024
褥瘡発生率	0.04	0.05	0.07	0.07	0.06
日本病院会 QI プロジェクト	0.11	0.14	0.11	0.13